

高崎経済大学英語授業実施業務に係る落札者決定基準

令和 7 年 1 0 月 1 0 日施行

この落札者決定基準は、公立大学法人高崎経済大学（以下「本学」という。）が高崎経済大学英語授業等実施業務に関し、公立大学法人高崎経済大学契約事務取扱規程第 17 条に規定する総合評価落札方式による一般競争入札に適用するものとする。

1 落札者の決定基準

総合評価落札方式による落札者の決定は、次の要件を満たす者のうち、本学にとって最も有利なものを決定するため、価格と価格以外の要素を総合的に評価し、評価値の高い者を落札者とする。

ア 入札参加資格を満たす者

イ 入札価格が予定価格の制限の範囲内にある者

ウ 入札書の無効に関する事項に該当する入札を行っていない者

ただし、落札者となるべき者の提案評価において、評価に値しない項目があるとき、当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとき、又は当該契約を締結することが著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で発注者の定める要件をすべて満たして入札した他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とすることがある。

なお、落札者となるべき評価値の最も高い者が 2 者以上あるときは、その該当者にくじを引かせ、落札者を決定する。なお、その該当者のうちくじを引かない者がいたとき、又はくじを引くことができない者がいたときは、その者に代わり当該事務に関係のない本学職員にくじを引かせるものとする。

2 総合評価審査会の設置

この落札者決定基準に基づき入札価格及び入札価格以外の要素（審査資料及びヒアリングをいう。以下同じ。）を総合的に評価する総合評価審査会（以下「審査会」という。）を設置する。

3 評価値の算出方法

評価値は、入札価格に基づき算定する価格評価点と入札価格以外の要素に基づき算定する提案等の評価点（以下「提案評価点」という。）の和により算出する。

評価値 = 価格評価点 + 提案評価点

4 評価点の配点

価格評価点と提案評価点の配点は、次のとおりとする。

- ・ 価格評価点 20点（満点）
- ・ 提案評価点 100点（満点）

5 価格評価点の算出方法

- （1）入札参加者の中で、最小の入札価格となった者に対し満点を付与する。
- （2）他の入札参加者については、最小の入札価格との比率により次の計算方法をもって得点を算出する。なお、小数点以下第2位を四捨五入して得た値とする。

$$\text{価格評価点} = 20 \text{ 点} \times \left(\text{最小の入札価格} / \text{入札価格} \right)$$

6 提案評価点の算出方法

提案評価点は、入札価格以外の要素により、別表の評価項目及び評価基準に基づき審査会の各委員が評価した評点の合計を平均（小数点以下第2位を四捨五入）した値とする。なお、各評価項目の評価は、次のとおり採点する。

評価	得点
当該評価項目において特に優れている	5点
当該評価項目において優れている	3点
当該評価項目において優れているとは言えない	1点
当該評価項目において評価に値しない	0点

(別表) 評価項目及び評価基準

分類	項番	評価項目	配点	係数	満点
1 目標及び目的	1	(1) 本学が英語科目に外部の指導力を活用する目的及び発注する授業の目的及び達成目標への理解度 【仕様書2・仕様書5】 「本学が英語科目に外部の指導力を活用する目的」や「発注する授業の目的及び達成目標」を理解したうえで、受注者として果たすべき役割及び法令遵守すべき内容は的確か	5	2	10
2 講師配置	2	(1) 本学が求める要件を満たす講師の所属状況及び確保体制 【仕様書6】 本学が求める要件（実績、資格、能力）を満たす講師が所属し、また請負可能なレベルを確保しているか	5	3	15
	3	(2) バックアップ講師の配置体制 【仕様書5】 予定する講師が出講できないことが事前に把握できている場合、休講を回避するためのバックアップ講師の配置体制とその運用方法は万全かつ適切か	5	1	5
3 サポート	4	(1) 本学との協議体制 【仕様書5】 業務を確実に実行するための本学との協議体制（業務責任者の配置、人員体制等）は適切か	5	2	10
	5	(2) 日本語を母語とするスタッフの配置体制 【仕様書5】 受注者の本社等に配置されるスタッフの経歴や実績は本業務の目的に適しているか、また、授業中のトラブルに対しては電話連絡により迅速に対処するなど対応に即応性・柔軟性を有しているか	5	2	10
	6	(3) 本学の授業に適応させるための講師の指導・研修体制 【心得2】 配置される講師に対する研修実施体制（研修責任者や指導員等）や研修時間・研修内容は適切なものか、また、業務履行の状況により本学が行う研修の指示への対応に、即応性・柔軟性を有しているか	5	2	10
	7	(4) 授業の質の担保に対するチェック体制及び改善指導体制 【心得2】 実施された授業の質を講師以外の受注者のスタッフが複数でチェックし、必要に応じて改善指導する体制と指導後の授業のチェック体制は適切なものか、また、授業の質を担保する方法を有しているか	5	2	10
	8	(5) 成績判定資料作成時のチェック体制 【心得2】 本学に提出する成績判定資料に対するチェックは講師以外の受注者のスタッフが複数で行うなど構築されたチェック体制は適切なものか、また、成績判定資料の正確性を担保する方法を有しているか	5	1	5
4 請負実績	9	(1) 他大学等での業務実施状況等 【心得2】 主に日本国内における大学等における業務実績の豊富さと、その実績や具体的成果が本学での受託業務において有効なものと認められるか	5	3	15
5 秘密保護	10	(1) 業務上知り得た事項や個人情報の保護体制 【仕様書8】 業務上知り得た事項や個人情報を保護し、他に漏らさないことに対する体制は適切か	5	1	5
6 その他	11	(1) その他有益な提案 【心得2】 そのほかの提案は、本学にとって有益であるか	5	1	5
合計					100